docomo

GALAXY Tab 7.0 Plus SC-02D

クイックスタートガイド

詳しい操作説明は、SC-02D に搭載されている「取扱説明書」アプリ（e トリセツ）をご覧ください。

はじめに

「SC-02D」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

本端末のご使用にあたって

- 本端末は、W-CDMA・GSM ／ GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM ／ GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。

- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され、不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上、ご利用ください。
- 本書は、ドコモUIMカードをご使用の場合で記載しています。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

本端末の操作説明について

取扱説明書について

本端末の操作は、本書のほかに、本端末用の取扱説明書アプリケーションである「取扱説明書」で、さらに詳しく説明しています。

■「クイックスタートガイド」(本書)
画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明

■「取扱説明書」(本端末のアプリケーション)
機能の詳しい案内や操作について説明
本端末のホーム画面で「アプリケーション」→「取扱説明書」をタップします。項目によっては、記載内容をタップして、説明ページよりダイレクトに内容の参照や機能の起動を行うことができます。

- 初めてご利用される際には、画面の指示に従って本アプリケーションのダウンロードとインストールをする必要があります。

■「取扱説明書」(PDFファイル)
機能の詳しい案内や操作について説明
ドコモのホームページでダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※「クイックスタートガイド」の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

操作手順の表記について

本書では、メニュー操作など連続する操作手順を省略して以下のように記載しています。

- タップとは、本端末のディスプレイを指で軽く触れて行う操作です(P.36)。

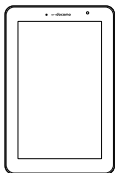
(例)ディスプレイのホーム画面から、 アプリケーション をタップして、 (Google検索アイコン)をタップする場合は、以下のように記載しています。

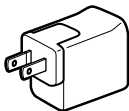
1 ホーム画面で「アプリケーション」→「Google検索」

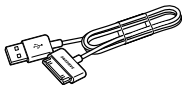
- 本書の操作手順や画面は、主にお買い上げ時の状態に従って記載しています。本端末は、お客様が利用するサービスやインストールするアプリケーションによって、メニューの操作手順や画面の表示内容などが変わる場合があります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、複数の操作方法が可能な機能や設定は、主に操作手順がわかりやすい方法について説明しています。
- 本書では、「SC-02D」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- FOMAカードをご利用のお客様は、本書内に記載している「ドコモUIMカード」は「FOMAカード」と読み替えてください。

本体付属品／試供品について

■ 本体付属品

SC-02D（保証書含む）

クイックスタートガイド(本書)

ACアダプタ SC02
（保証書含む）

USB接続ケーブル SC01

■ 試供品

microSDカード（1GB）

マイク付ステレオヘッドセット

- その他オプション品について → P.60

目次

本端末の操作説明について…………………………… P.1
本体付属品／試供品について………………………… P.3
SC-02Dのご利用にあたっての注意事項 ………… P.6
安全上のご注意（必ずお守りください）…………… P.8
取り扱い上のご注意……………………………… P.23

ご使用前の確認と設定	各部の名称と機能……………………………31 ドコモUIMカード ……………………32 microSDカード ……………………33 充電……………………………………34 電源を入れる………………………………35 基本操作……………………………………35 初期設定を行う……………………………36 ホーム画面…………………………………39 アプリケーション画面……………………44 文字を入力する……………………………45 ロック／セキュリティ……………………46
電話を使用する	電話をかける／受ける……………………48 発着信履歴…………………………………51 電話帳………………………………………51 利用できるネットワークサービス…………52
各種設定	設定メニュー………………………………53 アクセスポイントの設定…………………55
メール／インターネット	spモードメール ……………………58 メッセージ（SMS）……………………58 Eメール ……………………………………58 Gmail…………………………………………58 緊急速報「エリアメール」………………59 ウェブブラウザ……………………………59
付録	オプション品・関連機器のご紹介…………60 試供品（microSDカード（1GB)、マイク付ステレオヘッドセット）……………………61 故障かな？と思ったら……………………64 エラーメッセージ…………………………68 保証とアフターサービス…………………69 ソフトウェア更新…………………………72

SC-02Dのご利用にあたっての注意事項

- 本端末は、iモードのサイト(番組)への接続やiアプリなどには対応しておりません。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 公共モード(ドライブモード)には対応しておりません。
- 本端末は、オペレーティングシステム(OS)のバージョンアップにより機能が追加されたり、操作方法が変更になったりすることがあります。機能の追加や操作方法の変更などに関する最新情報は、ドコモのホームページでご確認ください。
- OSをバージョンアップすると、古いバージョンのOSで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Androidマーケットなどのgoogleサービスやfacebook、LinkedIn、mixi、Twitterを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- お客様の電話番号(自局電話番号)は以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「端末情報」→「ステータス」をタップします。
- 画像や動画、音楽などのお客様データは、パソコンでのバックアップを行ってください。接続方法について、詳しくは「取扱説明書」アプリの「ファイル管理」章をご参照ください。また、各種オンラインによるデータバックアップサービスのご利用をおすすめします。

- 本端末の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。
- テザリング利用時は、通信料が高額になる場合があります。パケット定額サービスへのご加入を強くおすすめします。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要です。
- テザリングの初期設定では、外部機器と本端末間でパスワードなどのセキュリティは設定されていません。任意のパスワードなどの設定をお勧めします。
- 本端末では、マナーモード中でも、着信音や各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生、アラームなど）は消音されません。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
🚫 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ **「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。**

1. 本端末、ACアダプタ(USB接続ケーブル含む)、ドコモUIMカードの取り扱いについて(共通)…………P.9
2. 本端末の取り扱いについて ……………………… P.12
3. ACアダプタ(USB接続ケーブル含む)の取り扱いについて ……………………………………………… P.15
4. ドコモUIMカードの取り扱いについて ………… P.17
5. 医用電気機器近くでの取り扱いについて ……… P.18
6. 材質一覧 ……………………………………………… P.19
7. 試供品(microSDカード、マイク付ステレオヘッドセット)の取り扱いについて ………………………… P.20

1.本端末、ACアダプタ(USB接続ケーブル含む)、ドコモUIMカードの取り扱いについて(共通)

⚠ 危険

禁止

高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

本端末に使用するACアダプタ(USB接続ケーブル含む)は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

外部接続端子やヘッドホン接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントから抜く。
- 本端末の電源を切る。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

本端末をACアダプタ（USB接続ケーブル含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらゲームなどを長時間行うと、本端末やACアダプタ（USB接続ケーブル含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2.本端末の取り扱いについて

■ 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠ 警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末内のUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、バイブレータ(振動)や通知音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部の表面にはITOフィルム、カメラのレンズの表面にはアクリル樹脂部品を使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

⚠ 危険

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上、ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質について → P.19「材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

3. ACアダプタ（USB接続ケーブル含む）の取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

USB接続ケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプタ（USB接続ケーブル含む）には触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントにつないだ状態でUSB接続ケーブルの30ピンプラグをショートさせないでください。また、USB接続ケーブルの30ピンプラグに手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

USB接続ケーブルのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でACアダプタ（USB接続ケーブル含む）のコード、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、USB接続ケーブルのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

4. ドコモUIMカードの取り扱いについて

⚠ 注意

指示

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

5.医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会)に準ずる。

⚠ 警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

6.材質一覧

使用箇所	使用材質
表面／ディスプレイパネル	強化ガラス※1
外装ケース（周囲）	側面:PC+ガラス繊維20%※2
	背面:PC※3
ヘッドホン接続端子	SUS※4
音量小／大ボタン、電源ボタン	PC※3
UIMカードスロット／microSDカードスロット	SUS
UIMカードスロットカバー／microSDカードスロットカバー	PC+ウレタン※3
リアカメラレンズパネル	アクリル樹脂
カメラレンズ周囲部分	アルミニウム※5
フラッシュパネル	PC
外部接続端子	SUS
スピーカーグリル	SUS
レシーバーグリル	SUS※6
赤外線パネル	PC

※1 ：表面処理I／Fコーティング
※2 ：表面処理ウレタンコーティング
※3 ：表面処理UVコーティング
※4 ：研磨仕上げ
※5 ：表面処理アルマイト
※6 ：塗装処理

7.試供品（microSDカード、マイク付ステレオヘッドセット）の取り扱いについて

⚠ 危険

■ マイク付ステレオヘッドセット

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

■ microSDカード／マイク付ステレオヘッドセット

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
故障、火災の原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

■ マイク付ステレオヘッドセット

禁止

端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などを運転中にマイク付ステレオヘッドセットを使用しないでください。
事故の原因となります。

禁止

歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、マイク付ステレオヘッドセットの音量を上げないでください。また、周囲の交通、路面状態には気を付けてください。
事故の原因となります。

⚠ 注意

■ microSDカード／マイク付ステレオヘッドセット

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

■ microSDカード

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
機器の変形やデータの消失、故障の原因となります。

禁止

曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

禁止

金属端子部分に手や導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）で触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

禁止

本製品へのデータの書き込み／読み出し中に、振動／衝撃を与えたり、電源を切ったり、機器から取り外したりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

■ マイク付ステレオヘッドセット

禁止

マイク付ステレオヘッドセットのコードを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たったり、コードが外れたりするなど、けがなどの事故、故障、破損の原因となります。

禁止

マイク付ステレオヘッドセットを使用するときは、音量に気を付けてください。
長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ **水をかけないでください。**
本端末、ACアダプタ（USB接続ケーブル含む）、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ **本端末などに無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子やヘッドホン接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■ **ACアダプタ(USB接続ケーブル含む)に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

本端末についてのお願い

■ **ディスプレイの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
ディスプレイが破損する原因となります。

■ **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃~35℃、湿度は45%~85%の範囲でご使用ください。

■ **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

■ **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **外部接続端子やヘッドホン接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ **通常はUIMカードスロットカバー、microSDカードスロットカバーを閉じた状態でご使用ください。**
ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■ **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

■ **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■ **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

■ **内蔵電池は消耗品です。**
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■ **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**

■ **内蔵電池を保管される場合は、次の点にご注意ください。**
- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

ACアダプタ（USB接続ケーブル含む）についてのお願い

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■ **次のような場所では、充電しないでください。**
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■ **充電中、ACアダプタ（USB接続ケーブル含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**

■ **強い衝撃を与えないでください。また、外部接続端子を変形させないでください。**
故障の原因となります。

ドコモUIMカードについてのお願い

■ **ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**

■ **他のICカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**

■ **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**

■ **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**

■ **お客様ご自身で、ドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**

■ **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

■ **ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障の原因となります。

■ **ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
故障の原因となります。

■ **ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。**
故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■ 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

■ Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 本端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、オブジェクトプッシュ、シリアルポート、ヒューマンインターフェースデバイス、パーソナルエリアネットワークを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります（対応しているBluetoothデバイスのみ）。

■ 周波数帯について
本端末のBluetooth機能／無線LAN機能（2.4GHz帯）が使用する周波数帯、変調方式、想定される与干渉距離、および周波数変更の可否は、次のとおりです。

使用周波数帯域	2400MHz帯
変調方式と想定される与干渉距離	FH-SS方式:10m以下 DS-SS方式:40m以下 OFDM方式:40m以下
周波数変更の可否	2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

- 利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetoothデバイス使用上の注意事項
本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

- 無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

■ 無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項
WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 本端末の5GHz帯の使用チャンネルについて
本端末は、5GHzの周波数帯において、W52、W53、W56の3種類のチャンネルを使用できます。

- W52、W53は、電波法により屋外での使用が禁じられています。

試供品(microSDカード、マイク付ステレオヘッドセット)についてのお願い

■ 水をかけないでください。
microSDカード、マイク付ステレオヘッドセットは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。

■ 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ **本端末からマイク付ステレオヘッドセットを取り外すときは、必ずマイク付ステレオヘッドセットのプラグ部分を持って本端末から水平に引き抜いてください。**
無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

注意

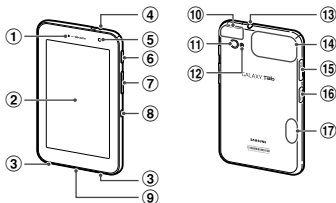
■ **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けております。
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■ **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

■ **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

■ **通信中は、本端末を身体から15mm以上離してご使用ください。**

ご使用前の確認と設定

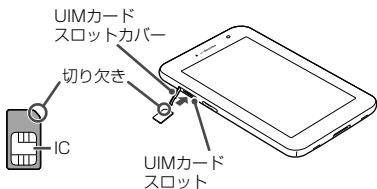
各部の名称と機能

① 照度センサー
② ディスプレイ（タッチスクリーン）
③ スピーカー
④ 送話口
⑤ フロントカメラ
⑥ 電源／終了ボタン
- 2秒以上押して、本端末の電源を入れます。
- 手動で画面ロックを設定できます。
- 1秒以上押すと、オプションメニュー画面が表示されます。電源を切ったり、マナーモードや機内モードを設定したりすることができます。
- 本端末をリセットするには、本端末が再起動するまで10～15秒押し続けます。

⑦ 音量小ボタン／音量大ボタン
⑧ 赤外線ポート
⑨ 外部接続端子
⑩ Bluetooth ／ GPSアンテナ部※
⑪ リアカメラ
⑫ フラッシュ

⑬ ヘッドホン接続端子
⑭ FOMAアンテナ部※
⑮ UIMカードスロット
⑯ microSDカードスロット
⑰ Wi-Fiアンテナ部※
※ アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

ドコモUIMカード

- FOMAカード(青色)をお使いの場合、海外で本端末を利用することはできません。FOMAカード(青色)をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモUIMカードの取り付け／取り外しは、本端末の電源を切ってから行ってください。

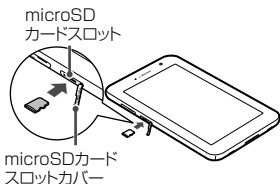
1 **UIMカードスロットカバーを開き、ドコモUIMカードを図の向き（IC面が下）で「カチッ」と音がするまでUIMカードスロットの奥に差し込む**

microSDカード

microSDカードの取り付けかた

本端末は、microSDカード（microSDHCカードを含む）を取り付けて使用することができます。

- 本端末は、2GBまでのmicroSDカードと32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2011年11月現在）。
- 対応のmicroSDカードは各microSDメーカへお問い合わせください。

1 本端末のmicroSDカードスロットカバーを開き、microSDカードの金属端子面を下にして、図の向きにスロットへmicroSDカードが固定されるまで奥に差し込む

正しい向きに差し込むと、まずmicroSDカードスロット内のガイドに軽く当たります。そのまま、「カチッ」と音がするまで、奥に差し込んでください。

充電

付属のACアダプタとUSB接続ケーブルを使って充電する方法を説明します。

- お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタとUSB接続ケーブルで充電してからお使いください。
- ACアダプタの電源プラグ部分に強い力をかけないでください。電源プラグ部分が外れることがあります。
- USB接続ケーブルのプラグは、無理な力がかからないよう水平にゆっくり抜き差ししてください。

1 **USB接続ケーブルのUSBプラグを、 の印字面を上にしてACアダプタへ矢印の方向に差し込む**

2 **本端末の外部接続端子にUSB接続ケーブルを30ピンプラグの「SAMSUNG」の印字面を上にして差し込む**

3 **ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む**

充電が完了すると、充電完了音が鳴り、 と充電完了のメッセージが表示されます。

4 **充電が完了したら、30ピンプラグを本端末から引き抜く**

5 **ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く**

電源を入れる

- 電池残量が全くない場合は、2〜3分間充電しないと電源が入りません。

1 ⏻ を2秒以上押す

2 画面をロングタッチし、外の円までドラッグする

起動画面が表示されます。

■ 電源を切る

⏻ を1秒以上押して、「電源OFF」→「OK」の順にタップします。

基本操作

タッチスクリーンの使いかた

本端末のタッチスクリーン（ディスプレイ）は、指で触れて操作します。本書内では主な操作方法を次のように表記しています。

■ タップする／ダブルタップする

表示項目やアイコンなどを指で軽く触れて選択／実行します（タップ）。また、表示されている画像やホームページなどをすばやく2回続けてタップして、表示内容を拡大／縮小します（ダブルタップ）。

■ ロングタッチする

表示内容や表示項目などを指で1秒以上触れ続けて、メニューなどを表示します。

■ ドラッグ（スライド）する

表示項目やアイコンなどを指で押さえながら、移動します。

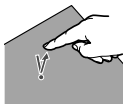
■ スクロールする

表示内容を指で押さえながら上下左右に動かしたり、表示を切り替えたりします。

■ フリックする

表示内容を指で押さえながら、すばやく上下左右に動かして離し、表示内容をスクロールします。

■ 2本の指の間隔を広げる／狭める
表示されている画像やホームページなどを2本の指で押さえながら、指の間隔を広げたり、狭めたりして表示内容の拡大／縮小ができます。

操作例

タップ

ドラッグ（スライド）

2本の指の間隔を広げる／狭める

画面ロック

画面の表示が消えると約5秒後に自動的に画面ロックが設定されます。

- 画面表示中に ⓘ を押しても画面ロックを設定できます。

■ ロックを解除する

1 ⓘ を押して表示された画面をロングタッチし、外の円までドラッグする

初期設定を行う

1 使用する言語を選択 →「開始」

2 Googleの位置情報サービスの使用を許可するかどうかを設定 →「次へ」

- ネットワークから日付・時刻情報を取得できないときや、ドコモUIMカードを取り付けていないときなどには、Googleの位置情報サービスの設定後、日時設定の画面が表示されます。表示された場合は、日時設定を行い、「次へ」をタップしてください。

3 Googleアカウントでログインする場合は「次へ」→ Googleアカウントを設定する

画面の指示に従ってログイン操作を行ってください。

- 「スキップ」をタップすると、初期設定を終了できます。
- 通信できない場合には、Googleアカウントのログインエラー画面が表示されます。「Wi-Fiに接続」をタップしてWi-Fiの設定（P.37）を行うか、「戻る」→「キャンセル」をタップして初期設定を終了してください。

4 バックアップと復元を設定 →「完了」

Wi-Fiネットワークに接続する

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、または公衆無線ＬＡＮサービスなどの無線アクセスポイントに接続できます。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「無線とネットワーク」→「Wi-Fi設定」

2 「Wi-Fi」にチェックを付ける

3 接続したいWi-Fiネットワーク →「OK」

お知らせ

- Wi-Fi機能がオンのときもパケット通信を利用できます。ただし、Wi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的に3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。

Wi-Fiネットワークの接続を切断する

1 Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fiネットワーク →「切断」

テザリングを利用する

テザリングとは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、USB対応機器、無線LAN対応機器をインターネットに接続させることをいいます（USBテザリング、Wi-Fiテザリング）。

- USBテザリングとWi-Fiテザリングは同時に利用できます。

■ USBテザリングを設定する

1 本端末とパソコンをUSB接続ケーブルで接続する

2 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「無線とネットワーク」→「テザリング」

3 「USBテザリング」にチェックを付ける

- 注意事項の詳細を確認して「OK」をタップします。

■ Wi-Fiテザリングを設定する

本端末をポータブルWi-Fiホットスポットとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに8台まで同時接続させることができます。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「無線とネットワーク」→「テザリング」

2 「Wi-Fiテザリング」にチェックを付ける

- 注意事項の詳細を確認して「OK」をタップします。

お知らせ

- USBテザリングを行うには、専用のドライバをパソコンにインストールする必要があります。専用のドライバのダウンロードやその他詳細については、以下のホームページをご覧ください。

  http://www.samsung.com/jp/support/download.html
- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境（OS）は以下のとおりです。なお、OSのアップグレードや追加／変更した環境での動作は保証いたしかねます。

  Windows XP（Service Pack 3以降）、Windows Vista、Windows 7

ホーム画面

5枚のホーム画面が用意されており、左右にスクロール／フリックして、画面を切り替えられます。ウィジェットやショートカットを配置できます。

ホーム画面の表示内容

① 本端末内やインターネットの情報を検索します。
② ホーム画面の位置が表示されます。
③ アプリケーション画面を表示します（P.44）。
④ ホーム画面のカスタマイズ画面を表示します。
⑤ ホーム画面のカスタマイズ画面で登録したウィジェットやアプリケーションのショートカットなどが表示されます。

■ ホーム画面をカスタマイズする
任意のホーム画面にウィジェットやショートカットを追加したり、壁紙を変更したりできます。

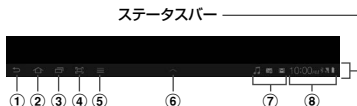
1 ホーム画面で ＋ →「ウィジェット」／「アプリショートカット」／「壁紙」／「その他」タブをタップする

2 追加／変更の操作を行う

ウィジェットやショートカットを移動／削除する場合

ホーム画面で各アイコンをロングタッチ → ドラッグして移動します。削除するには、「削除」までドラッグし、ウィジェットやショートカットが赤く表示されたら離します。

ステータスバー

ディスプレイ下部のステータスバーには、操作アイコンや、本端末の状態や通知情報などを示すアイコンが表示されます。

① **直前に表示していた画面に戻ります。また、アプリケーションを終了します。**
- と表示されているときは、キーボードなどを消します。

② **ホーム画面に戻ります。**
- ロングタッチすると、タスクマネージャーを起動します。

③ **最近利用したアプリケーションを表示します。**
- ロングタッチすると、アプリケーション画面（P.44）を表示します。

④ **画面の表示内容を画像として保存します。**
- クイック起動で項目を変更した場合、表示されるアイコンは機能に応じて変更されます（P.53）。

⑤ **表示中のアプリケーションの状態に応じたオプションメニューを表示します。**
- アプリケーションによってはステータスバーから操作できません。

⑥ **操作中のアプリケーションを表示しながら起動できるミニアプリケーションの一覧を表示します。ミニアプリケーションには、電話、SMS、タスクマネージャー、ペンメモ、カレンダー、音楽プレーヤー、電卓、世界時計があります。**

⑦ **通知情報があるときに通知アイコンが表示されます。**
- タップすると、通知内容の確認や各種操作ができます。

⑧ **時刻と本端末の状態を示すステータスアイコンが表示されます。**
- タップすると、設定／通知パネルを表示できます。

■ 設定／通知パネル

ステータスバーの時刻表示やステータスアイコンをタップすると、現在の日時の確認や各種機能ON／OFFの設定、ディスプレイの明るさの設定、通知情報の確認などが行えます。

- ON／OFFの設定は、Wi-Fi機能、通知情報の表示、GPS機能、音声出力、ディスプレイの自動回転、Bluetooth機能、機内モードについて設定できます。左右にスライドすると、非表示の設定項目を表示できます。

■ 主な通知アイコン

アイコン	内容	アイコン	内容
（緑）	通話中		エラーメッセージあり
	保留中通話あり		Androidマーケットからアプリケーションのアップデートあり
	不在着信あり		アプリケーションのインストール完了
（青）	Bluetoothデバイス(ヘッドセットなど)で通話中		Googleマップナビでナビゲーション中
	新着Gmailあり		Bluetooth通信でのデータ受信承認待ち
	新着Eメールあり		キーボード表示中
	新着SMSあり／SMSの送達通知あり		USBテザリング機能ON
	SMSの配信に問題あり		Wi-Fiテザリング機能ON

	新着インスタントメッセージあり		USBテザリング機能とWi-Fiテザリング機能ON
	データダウンロード中／完了		AllShare起動中
	データアップロード中／完了		GPS機能現在地測位完了
	Picasaなどにデータアップロード完了		GPS機能現在地測位中
	留守番電話サービスの伝言メッセージあり		画面を拡大表示できるアプリケーションを表示中
	アラームあり		通知情報を非表示に設定中
	カレンダーなどのアラームあり		VPN接続中(未接続時は濃いグレー)
	バックグラウンドで音楽再生中／一時停止中		Wi-Fi Direct利用中
	USB接続中		省電力モード設定中
	Pulseの新着ニュースあり		本端末の空き容量低下

■ 主なステータスアイコン

	電波レベル（電波の強弱に合わせて青いバーが増減します）		Wi-Fi通信中（送信／受信中は矢印が緑色、待機中は矢印がグレー）
	電波レベル（国際ローミング中）		Bluetooth機能有効
	圏外（全てのバーが明るいグレー）		Bluetoothデバイスと接続中
	FOMAハイスピード使用可能		機内モード設定中
	FOMAハイスピード通信中（送信／受信中は矢印が緑色、待機中は矢印がグレー）		電池レベル（電池残量に合わせて青い部分が増減します）
	3G使用可能		電池レベル·低
	3G通信中（送信／受信中は矢印が緑色、待機中は矢印がグレー）		充電中（パソコンと接続して充電中は、アイコンに「×」印）
	Wi-Fi使用可能		アラーム設定中

アプリケーション画面

本端末の機能やアプリケーションは、アプリケーション画面にアイコンで表示され、タップして起動したり、設定を確認したりすることができます。

1 ホーム画面で「アプリケーション」

① タブが表示されます。
  - 「マイアプリ」タブをタップすると、任意にインストールしたアプリケーションが表示されます。

② Androidマーケットを表示します。

③ アプリケーションのアイコンが表示されます。

④ アプリケーション画面の表示位置が表示されます。
  - アイコンをロングタッチすると、縮小表示されたホーム画面が表示され、アイコンをドラッグするとドラッグした位置のホーム画面にショートカットを追加できます。

文字を入力する

文字を入力するには、文字入力欄をタップして文字入力用のキーボードを表示します。
パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードを利用して、文字を入力できます。日本語を入力するには、ローマ字入力で行います。

- をタップすると、カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。
- Samsung日本語キーボードでは、入力モードを「ひらがな漢字」「半角英字」「全角数字」「半角数字」から選択できます。
  キーボード表示中に をロングタッチして項目を選択できます。
- ステータスバーの をタップして、キーボードの種類（入力方法）をSamsung日本語キーボード以外に切り替えられます。

本端末で利用する暗証番号について

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末の画面ロック用パスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 入力した画面ロック用PIN／パスワード、ネットワーク暗証番号、PINコード、PINロック解除コード（PUK）は、「•」で表示されます。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でお申し込みされたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■ **画面ロック用PIN／パスワード**

本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です。

■ **ネットワーク暗証番号**

ドコモショップまたはドコモインフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」※の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
なおdメニューからは、dメニュー→「お客様サポート」→「各種お申込・お手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

※「My docomo」、「お客様サポート」については、P.83をご覧ください。

■ PINコード

ドコモUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
PINコードは、第三者による本端末の無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PIN コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 新しく本端末を購入されて、現在ご利用中のドコモUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」（PUK）を入力してロックを解除してから、PINコードの再設定を行ってください。
  PINロック解除コード（8桁）を入力 →「OK」→ 新しいPINコードを入力 →「OK」→ 再度PINコードを入力 →「OK」をタップします。

■ PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8 桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモUIMカードがロックされます。ロックされた場合は、ドコモショップ窓口までお問い合わせください。

PINコードを設定する

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「SIMカードロックを設定」→「SIMカードロック」にチェックを付ける → PINコードを入力 →「OK」

電話を使用する

電話をかける／受ける

電話をかける

- 本端末には受話口がありません。ハンズフリー通話のみ可能です。マイク付ステレオヘッドセット(試供品)などをお使いください。

1　ホーム画面で「電話」

2　ダイヤルボタンをタップして相手の電話番号を入力する

- 同一市内へかけるときでも市外局番から入力してください。

3　「発信」

通話中画面が表示されます。

4　通話が終了したら「終了」

お知らせ

- 通話中画面では次の操作ができます。
  - 「保留」※／「保留解除」※：通話を保留／保留解除します。
  - 「ミュート」：自分の声を相手に聞こえなくします。
  - 「Bluetooth」：Bluetooth デバイスと接続してハンズフリーで通話します。
  - 「通話を追加」※：別の相手に電話をかけます。
  - 「キーパッド」：テンキーパッドを表示してプッシュ信号を送信します。
  - 「終了」：通話を終了します。

※「キャッチホン」をご契約いただいている場合のみ操作できます。

- 通話相手の声の音量(通話音量)を調節するには、通話中に(音量大)または(音量小)を押します。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防･救急への通報	119
海上での通報	118

お知らせ

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、待ち受け画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域/導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察･消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信できる状態にしておりてください。
- かけた地域により、管轄の消防署･警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内では、ドコモUIMカードを取り付けていない場合、緊急通報110番／119番／118番に発信できません。

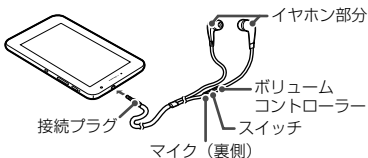
電話を受ける

1 電話がかかってきたら、着信中の画面で [icon] を右方向にドラッグする

マイク付ステレオヘッドセットの使いかた

■ **マイク付ステレオヘッドセット（試供品）の取り付けかた**

以下のようにマイク付ステレオヘッドセットの接続プラグを本端末のヘッドホン接続端子に差し込みます。

- マイク付ステレオヘッドセットの取り付け時には、接続プラグをヘッドホン接続端子の奥まで正しく差し込んでください。

■ **マイク付ステレオヘッドセットで電話を受ける**

1 電話がかかってきたら、マイク付ステレオヘッドセットのスイッチを押す

電話がつながると通話ができます。自分の音声は、マイク付ステレオヘッドセットのマイクから相手に送られます。

- 通話相手の声の音量（通話音量）を調節するには、通話中にボリュームコントローラーの「+」または「−」を押します。

2 通話が終了したら、再度スイッチを押す

発着信履歴

履歴では、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴を一覧で確認できます。

1 ホーム画面で「電話」→「履歴」タブ

履歴画面が表示されます。

：着信／受信履歴	：発信／送信履歴
：不在着信履歴	：電話
：SMS	：着信拒否履歴／拒否リストからの電話

2 かけたい相手をロングタッチする

3 「音声通話」

電話帳

電話帳に名前や電話番号、メールアドレスなどさまざまな情報の登録ができます。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「電話帳」

利用できるネットワークサービス

本端末では、メニューを使って以下のドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- お申し込み方法については、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 詳細は、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

サービス名称	お申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	要	有料
キャッチホン	要	有料
転送でんわサービス	要	無料
発信者番号通知サービス	不要	無料
公共モード（電源OFF）	不要	無料

- 「停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。

各種設定

設定メニュー

画面の明るさや表示方法、通知音、通信などさまざまな設定を行うことができます。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」

2 メニュー項目を選択して設定を行う

項目	説明
無線とネットワーク	ネットワーク接続の設定をします。
通話	通話に関する設定をします。
サウンド	通知音やバイブなどを設定します。
画面	画面の明るさや表示方法、クイック起動などを設定します。
省電力モード	消費電力を抑えるモードの設定をします。
位置情報とセキュリティ	位置情報検索やセキュリティに関する設定をします。
アプリケーション	アプリケーションの表示や、管理に関する設定をします。
アカウントと同期	各アプリケーションやオンラインサービスの同期方法を設定します。
モーション	本体の動きを感知して本端末を操作するモーション起動サービスの設定を行います。
プライバシー	Googleアプリケーションのバックアップ設定や本端末のリセットを行います。

項目	説明
ストレージ	本端末のメモリー容量の確認をします。
言語と文字入力	使用する言語とキーボードの入力方式を設定します。
ユーザー補助	ユーザーの操作に音や振動で反応するユーザー補助オプションを設定します。
日付と時刻	日付･時刻について設定します。
端末情報	各種ステータスや法定情報などの情報を確認できます。

■ Samsungアカウントについて
SamsungDiveを利用して、本端末をリモートコントロールすることもできます。

- Samsungアカウントは、設定メニュー画面で「アカウントと同期」→「アカウントを追加」→「Samsungアカウント」をタップして、画面の指示に従って設定します。
- SamsungDiveの詳細については、以下のホームページをご覧ください。

  http://www.samsungdive.com
- Samsung アカウントを設定すると、「システムメモリー（本体）を初期化」を実行できません。「システムメモリー（本体）を初期化」を実行する場合は、Samsungアカウントを削除してから操作してください。
- Samsungアカウントの削除には、Samsungアカウントのパスワードが必要になるため、設定したパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。また、パスワードを忘れた場合は、ドコモショップ窓口までお問い合わせください。

アクセスポイントの設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント(spモード、mopera U)は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。

■ 利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「APN」

■ アクセスポイントを追加で設定する

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「APN」→ ≡ →「新規APN」

2 「名前」→ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 →「OK」

3 「APN」→ アクセスポイント名を入力 →「OK」

4 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力する

5 ≡ →「保存」

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、アクセスポイントを初期化するか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「APN」

2 ≡ →「初期状態にリセット」

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

■ mopera Uを設定する

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「APN」

2 「mopera U（定額データプラン）」／「mopera U（スマートフォン定額）」／「mopera U設定」の ◉（灰色）をタップして ◉（緑色）にする

お知らせ

- 「mopera U設定」はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
- 「mopera U(スマートフォン定額)」をご利用の場合、「パケット定額サービス」のご契約が必要です。mopera U(スマートフォン定額)の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 「mopera U(定額データプラン)」をご利用の場合、「定額データプラン」のご契約が必要です。mopera U(定額データプラン)の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

メール／インターネット

spモードメール

iモードのメールアドレス(@docomo.ne.jp)を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しております。spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック(spモード編)』をご覧ください。

1 ホーム画面で「spモードメール」→ 画面の指示に従ってspモードメールをインストールする

メッセージ（SMS）

携帯電話番号を宛先にして全角最大70文字(半角英数字のみの場合は160文字)まで、文字メッセージを送受信できるサービスです。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「SMS」

Eメール

mopera UメールのEメールアカウントや、一般のプロバイダが提供するPOP3やIMAPに対応したEメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「Eメール」

Gmail

Gmailを利用して、Eメールの送受信ができます。

1 ホーム画面で「アプリケーション」→「Gmail」

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中などは受信できません。また、本端末のメモリー容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

■ 緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用の着信音が鳴りステータスバーに通知アイコンが表示され、受信画面が表示されます。

- 着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- お買い上げ時は、マナーモード設定中でも着信音が鳴ります。鳴動しないように設定できます。

■ 受信したエリアメールを表示する

1 **ホーム画面で「アプリケーション」→「エリアメール」**

2 **確認したいエリアメールをタップする**

■ 緊急速報「エリアメール」を設定する

受信設定や着信音設定をします。また、受信時の動作確認もできます。

1 **緊急速報「エリアメール」画面で ≡ →「設定」**

2 **項目を設定する**

ウェブブラウザ

ウェブブラウザを利用して、ウェブページを閲覧できます。本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でウェブブラウザを利用できます。

- ウェブページによっては、表示できない場合や、正しく表示されない場合があります。

1 **ホーム画面で「ブラウザ」**

ウェブブラウザが起動し、ホームページに設定されているウェブページが表示されます。

付録

オプション品・関連機器のご紹介

本端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- ACアダプタ SC01／SC02
- USB接続ケーブル SC01
- USB変換アダプタ SC01
- 卓上ホルダ SC04
- HDMI変換ケーブル SC02※1
- 車載ハンズフリーキット 01※2
- 骨伝導レシーバマイク 02※2
- FOMA 補助充電アダプタ 02※1

※1 本端末と接続するには、USB接続ケーブル SC01が必要です。充電中に電源が入っていたり、機能を使用している場合は規定の電池容量まで充電できない場合があります。

※2 本端末とBluetooth 通信で接続できます。

試供品（microSDカード（1GB)、マイク付ステレオヘッドセット）

- 試供品は無料修理保証の対象外です。

ご使用方法

■ microSDカード

ご使用上のお願い

- 正しい取り付けかた／取り外しかたをご確認ください。無理に取り付け／取り外しを行うと、故障の原因となります。
- microSDカードをご使用の際は、必ずデータのバックアップを作成してください。microSDカードに記録されたデータの破壊、消失については、故障や損害の内容／原因に関わらず、Samsung Electronicsは一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードには寿命があります。長期間または繰り返しご使用になると、データの書き込みや読み込みなどのご使用ができなくなったり、遅くなったりする場合があります。
- microSDカードおよびSD変換アダプタにラベルやシールなどを貼った状態で、機器に取り付けないでください。機器への取り付け／取り外しができなくなったり、接触不良が発生したりする原因となります。
- microSDカードを廃棄する場合は、地方自治体の規則に従って処理してください。

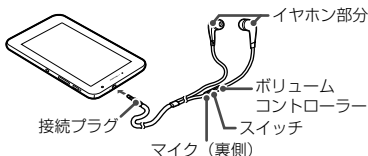
免責事項について

次の項目に該当する場合について、Samsung Electronicsは一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- microSDカードの使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からの請求
- microSDカードの取り扱いにおいて、取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害
- microSDカードのご使用において発生したデータの消失、破損
    - Samsung Electronicsでは、データの復旧/回復作業は行っておりません。
- 接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから発生した損害

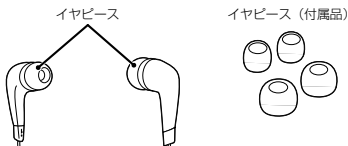
主な仕様

動作電圧	2.7V～3.6V
外形寸法	縦:約15mm　横:約11mm　厚み:約1mm
質量	約0.29g

■ **マイク付ステレオヘッドセット**

1 マイク付ステレオヘッドセットの接続プラグを本端末のヘッドホン接続端子に差し込む

- スイッチを1秒以上押すと音楽プレーヤーを起動できます。音楽プレーヤーや動画が再生しているときは、スイッチを押すたびに再生／一時停止の切り替えができます。
- 使い終わったら、取り付けかたと逆の手順で取り外します。

イヤピースのサイズが合わないときは

マイク付ステレオヘッドセットには、サイズの異なる2種類のイヤピースが付属しています。サイズが合わないと感じたときは、交換してください

主な仕様

コネクタ形状 3.5mm	ステレオミニプラグ
インピーダンス	32Ω
最大入力	40mW
音圧感度	95±3dB/mW
サイズ	長さ約1180mm
質量	約12.7g（本体のみ）

- 仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

故障かな？と思ったら

- まず初めにソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（P.72）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

症状	チェックする箇所
本端末の電源が入らない	• 電池切れになっていませんか。 → P.34

■ 充電

症状	チェックする箇所
充電ができない	• ACアダプタの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。 • ACアダプタとUSB接続ケーブル、またはUSB接続ケーブルと本端末が正しくセットされていますか。 • USB接続ケーブルでパソコンから充電する場合、パソコンの電源が入っていますか。 • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電できなくなる場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■ 端末操作

症状	チェックする箇所
操作中･充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、充電しながら動画撮影などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、付属のACアダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
タッチスクリーンをタップしても動作しない	• 画面ロックが設定されていませんか。( ) ① を押して画面ロックを解除してください。 → P.36
ドコモUIMカードが認識しない	• ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P.32

症状	チェックする箇所
時計がずれる	・ 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。自動日時設定がチェックされているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。
端末動作が不安定	・ ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 ・ セーフモードの起動方法 電源がOFFの状態から電源ボタンを押し、「GALAXY Tab」が画面に表示されている間、▢（音量小）を押し続けてください。 ※ セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。 ・ 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 ・ お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 ・ セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。

症状	チェックする箇所
データが正常に表示されない／タッチスクリーンを正しく操作できない	• ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「プライバシー」をタップして、「システムメモリー（本体）を初期化」をお試しください。
画面ロックを解除できない	• 画面ロックの解除にパターン／ PIN ／パスワードが設定されていませんか。
ネットワークに接続できない	• 電波の弱い場所で使用していませんか。 → P.43
本端末が応答しない、操作できなくなった	• ① を10 ～ 15秒間押してください。自動的に再起動します。再起動しても問題が解決しないときは、ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「プライバシー」をタップして、「システムメモリー（本体）を初期化」をお試しください。

■ **通話**

症状	チェックする箇所
電話発信ボタンをタップしても発信できない	• ドコモUIMカードが正しく本端末に取り付けられていますか。→P.32 • 機内モードを設定していませんか。→P.31

症状	チェックする箇所
通話ができない	• 電源を入れ直すか、ドコモUIMカードを取り付け直してください。 →P.35、P.32 • 電波の性質により、圏外ではない、電波が強くアンテナマークが4 本表示されている状態（ ）でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
XXXX(XXXX)が予期せず中止しました。やり直してください※	本端末や機能にエラーが発生したときに表示されます。「強制終了」をタップしてから再度操作してください。	－
通話にするには、機内モードをOFFにしてください。	ドコモUIMカードが正しく取り付けられていない、または機内モードを設定した状態で電話をかけようとしたときに表示されます。ドコモUIMカードが正しく取り付けられていることを確認するか、機内モードをオフにしてから再度操作してください。	P.31、P.32

※ XXXXには、エラーが発生したアプリケーションや機能の名称などが表示されます。

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳（連絡先）などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳（連絡先）などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末は、連絡先のインポート／エクスポート機能を使用して電話帳の登録データをmicroSDカードやドコモUIMカードに保存していただくことができます。詳細は「取扱説明書」アプリをご覧ください。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな?と思ったら」(P.64)をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ **保証期間内は**

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良(液晶・コネクタなどの破損)による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ **以下の場合は、修理できないことがあります。**

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合(例:水濡れシールが反応している場合)
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合(外部接続端子・ヘッドホン接続端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります)

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ **保証期間が過ぎたときは**

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
    - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障･損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、本端末の故障･修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所:スピーカー、カメラ、バイブレータ部分
- 本端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理、内蔵電池の交換をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新について

インターネット上のダウンロードサイトから本端末の修正用ファイルをダウンロードし、ソフトウェアの更新を行います。ソフトウェア更新には、本端末で直接ネットワークに接続して行う方法があります。

■ ソフトウェア更新についての注意事項

- ソフトウェア更新は本端末に保存されているデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。万が一のトラブルに備え、本端末内のお客様情報やデータは、バックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし一部バックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア更新の前に以下の準備を行ってください。
  - 本端末で実行中のすべてのプログラムを終了する
  - 本端末を充電し、電池残量を十分な状態にする
- ソフトウェア更新（ダウンロード、更新ファイルのインストール）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新ファイルのインストール中は、すべての機能を利用できません。
- ソフトウェア更新に失敗するなどして一切の操作ができなくなった場合は、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

本端末でネットワークに接続して更新する

- ソフトウェア更新を利用するには、Googleアカウントの設定が必要です。

1 **ホーム画面で「アプリケーション」→「設定」→「端末情報」→「ソフトウェア更新」→「更新」**

2 **以降、画面の指示に従って操作する**
ソフトウェア更新が完了すると、本端末が自動的に再起動します。

お知らせ

- ソフトウェアをダウンロードしたあと、インストール続行の確認画面で「後で」をタップするとインストールの実行を一定時間延期できます。延期した場合でも、「更新」をタップするとすぐにインストールを開始できます。

パソコンに接続して更新する

パソコンにインストールした「Samsung Kies」を使って本端末のソフトウェアを更新できます。

- Samsung KiesはSamsungのホームページからダウンロードして、パソコンにインストールします。詳細については以下のホームページをご覧ください。

  http://www.samsung.com/jp/support/kies.html

1 **パソコンでSamsung Kiesを起動する**

2 **本端末とパソコンをUSB接続ケーブルで接続する**

3 **以降、パソコンの画面の指示に従って操作する**

FCC notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

■ **Information to User**

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules.

These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF exposure information

Your device is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the exposure limits for radiofrequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission (FCC) of the U.S.Government.
These FCC exposure limits are derived from the recommendations of two expert organizations: the National Council on Radiation Protection and Measurement (NCRP) and the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE).
In both cases, the recommendations were developed by scientific and engineering experts drawn from industry, government, and academia after extensive reviews of the scientific literature related to the biological effects of RF energy.
The exposure limit set by the FCC for wireless devices employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR is a measure of the rate of absorption of RF energy by the human body expressed in units of watts per kilogram (W/kg). The FCC requires wireless devices to comply with a safety limit of 1.6 watts per kilogram (1.6 W/kg).
The FCC exposure limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection to the public and to account for any variations in measurements.
SAR tests are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the device while operating can be well below the maximum value. This is because the device is designed to
operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output.
Before a new model device is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the exposure limit established by the FCC. Tests for each model of a device are performed in positions and locations (e.g. near the body) as required by the FCC.
For typical operations, this device has been tested and meets FCC RF exposure guidelines.

Use of other accessories may not ensure compliance with FCC RF exposure guidelines.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. The maximum Body-worn SAR value for this model phone as reported to the FCC is 0 983 W/kg.

FCC Radio Frequency Emission

This device meets the FCC Radio Frequency Emission Guidelines.
SAR information on this and other model devices can be viewed online at
http://ww.fcc.gov/oet/ea.
To find information that pertains to this particular model device, this site uses the FCC ID number A3LSWDSC02D.
Follow the instructions on the website and it should provide values for typical or maximum SAR for a particular device.
Additional product specific SAR information can also be obtained at www.fcc.gov/cgb/sar.

European RF Exposure Information

THIS MODEL MEETS NTERNATIONAL GU DELINES FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES
Your mobile phone is a radio transmitter and receiver. t is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICN RP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 0 W/kg. As mobile phone offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide*. In this case, the highest tested SAR value is 0 841 W/kg.
As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.
The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a 'handsfree' device to keep the mobile phone away from the head and body.

* When carrying the product or using it while worn on the body maintain a distance of 5 mm from the body to ensure compliance with RF exposure requirements.

Declaration of Conformity (R&TTE)

We, **Samsung Electronics**
declare under our sole responsibility that the product
Portable GSM WCDMA Wi-Fi Device :
SC-02D
to which this declaration relates, is in conformity with the following standards and/or other normative documents.

SAFETY	EN 60950-1 2006+A1:2010
SAR	EN 62209-2 2010 EN 62479 2010 EN 62311:2008
EMC	EN 301 489-01 V1.8.1(04-2008) EN 301 489-07 V1.3.1(11-2005) EN 301 489-17 V2.1.1(05-2009) EN 301 489-24 V1.5.1(10-2010) EN 55022 2006+A1:2007 EN 55024:1998+A1:2001+A2:2003
RADIO	EN 301 511 V9.0 2(03-2003) EN 300 328 V1.7.1(10-2006) EN 301 908-1 V4.2.1(03-2010) EN 301 908-2 V4.2.1(03-2010) EN 300 440-1 V1.6.1(08-2010) EN 300 440-2 V1.4.1(08-2010) EN 301 893 V1.5.1(12-2008)

We hereby declare that [all essential radio test suites have been carried out and that] the above named product is in conformity to all the essential requirements of Directive 1999/5/EC.

The conformity assessment procedure referred to in Article 10 and detailed in Annex[Ⅳ] of Directive 1999/5/EC has been followed with the involvement of the following Notified Body(ies):

BABT, Forsyth House, Churchfield Road,
Walton-on-Thames, Surrey, KT12 2TD, UK*
Identification mark: 0168

The technical documentation kept at :

Samsung Electronics QA Lab.

CE0168ⓘ

which will be made available upon request.
(Representative in the EU)
Samsung Electronics Euro QA Lab.
Blackbushe Business Park, Saxony Way,
Yateley, Hampshire, GU46 6GG, UK*
2011/11/02
(place and date of issue)

Joong-Hoon Choi / Lab Manager

(name and signature of authorised person)

* It is not the address of Samsung Service Centre. For the address or the phone number of Samsung Service Centre, see the warranty card or contact the retailer where you purchased your product.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権について

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また､本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「iモード」「iアプリ」「デコメール®」「公共モード」「mopera」「mopera U」「エリアメール」「spモード」「spモードメール」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。

- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 「Google」、「Google」 ロゴ、「Android」、「Android」 ロゴ、「Android マーケット」、「Androidマーケット」ロゴ、「Gmail」、「Google Calendar」、「Google Maps」、「Google Talk」、「Google Latitude」、「Google +」、「Picasa」および「YouTube」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- 日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のiWnnを使用しています。iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2011 All Rights Reserved.
- Microsoft®、Windows Media®、ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- DivX®、DivX Certified®、およびこれらの関連ロゴは、Rovi Corporationおよびその子会社の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。

DIVXビデオについて：DivX®は、Rovi Corporationの子会社であるDivX, LLC.が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivXビデオの再生に対応した正規のDivX Certified®（DivX認証）デバイスです。詳細情報およびビデオファイルをDivX形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.comをご覧ください。

DIVXビデオオンデマンドについて：DivXビデオオンデマンド（VOD）コンテンツを再生するには、このDivX Certified®（DivX認証）デバイスを登録する必要があります。登録コードは、デバイスセットアップメニューのDivX VODセクションで確認できます。詳細情報と登録方法については、vod.divx.comをご覧ください。

プレミアムコンテンツを含む最高HD 720pのDivX®ビデオ再生対応のDivX Certified®（DivX認証）取得済み。1080pのDivX®ビデオも再生できる場合があります。

- 「Twitter」はTwitter, Incの商標または登録商標です。
- 「Facebook」は、Facebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「mixi」は株式会社ミクシィの商標または登録商標です。
- MySpace、および関連ロゴはMySpace, Inc.の登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA. LLCにお問い合わせください。

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
spモードからdメニュー ⇒「お客様サポート」⇒「各種お申込・お手続き」
パソコンからMy docomo (http://www.mydocomo.com) ⇒ 各種お申込・お手続き

※ spモードからご利用になる場合､「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。
※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID/パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID/パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は本書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより､ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

公共の場所で本端末をご利用の際は周囲への心くばりを忘れずに。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ **使用禁止の場所にいる場合**

航空機内､病院内では､必ず本端末の電源を切ってください。

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも､必ず電源を切ってください。

■ **満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合**

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ **運転中の場合**

運転中の本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ **劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合**

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると､周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ 公共モード（電源OFF)

電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

■ バイブレータ

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

■ マナーモード → P.31

操作音や通知音など本端末から鳴る音を消します。

■ 機内モード → P.31

すべてのワイヤレス接続を無効にします。

そのほかにも､留守番電話サービス､転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

海外での紛失、盗難、精算などについて〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号	-81-3-6832-6600*（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※ SC-02Dからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号	-8000120-0151*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※ 主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

● 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

海外での故障について〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号	-81-3-6718-1414*（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※ SC-02Dからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号	-8005931-8600*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※ 主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

● お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの)**151**(無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00〜午後8：00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの)**113**(無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間（年中無休）

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/

試供品のお問い合わせ先
〈サムスンテレコムジャパン株式会社〉

072-830-6075

受付時間　午前9：00〜午後5：00
（土曜日・日曜日・年末・年始・祝祭日を除く）

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 試供品については、本書内でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　Samsung Electronics Co.,Ltd.
'11.11（1.1版）

Code No.:GH68-35972A（Rev.1.0）

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。